

NEWS

No.1
2024.7

*今年度から「より親しみやすい資料館」を目指して、資料館の活動を楽しくお届けする情報誌を年4回発行していきます。

CONTENTS

1. 企画展紹介
2. 特集|本別公園でみられる草花
3. 資料館職員の活動日記/トピック展アーカイブ
4. 調査記録/元気くんの小さな発見
5. 収蔵資料紹介
6. トピックス

7月15日 本別空襲を伝える ～子どもの目から見た戦争～



精華裁縫女学校が本別青年学校となり保育所が併設された 1944（昭和19）年 本別神社付近

今から79年前の1945年7月15日に 本別空襲を体験し
それを現在語る人のほとんどは 当時子どもでした
戦争に巻き込まれた子どもたちは
どのように暮らし 何を感じていたのでしょうか

開催期間

2024年7月2日(火)
～ 8月31日(土)

会場

本別町歴史民俗資料館

休館日

月曜日・祝日(8/11) ※7月15日は特別開館

開館時間

(火)～(日) 9:00～16:00

〔展示内容〕

- ◆本別の子どもと戦争
- ◆他の地域での子どもの戦争体験

〔お問い合わせ〕

本別町歴史民俗資料館（本別町図書館西隣）

〒089-3334 北海道中川郡本別町北2丁目

TEL 0156-22-2141(内線410)

主催／本別町教育委員会（ほんべつ学びの日祈風事業）

入場
無料

〔関連事業〕

7・15 忘れないプロジェクト
移動展@中央公民館

本別空襲の日、7月15日に撮影した写真を皆さんから募集する「7・15 忘れないプロジェクト@ほんべつ」。2023年に寄せられた写真を公民館ロビーに展示します。

◆とき 6月25日(火)～7月31日(水)

◆ところ 本別町中央公民館玄関ロビー

(本別町北1丁目 0156-22-5111)

主催／本別町歴史民俗資料館友の会

クシロワチガイソウ



北海道に生えるワチガイソウの仲間は本種だけです。

ギンリョウソウ



全草が真っ白で光合成をしません。ふしぎです。

エゾオオサクラソウ

義経山で群落がみられます。



Special
本別公園で
みられる草花
特集



ヒメイチゲ

ポツンと生えることが多い。

ササバギンラン

ランの仲間、笹のような形の葉をつけます。神居山の限られた場所で生えています。

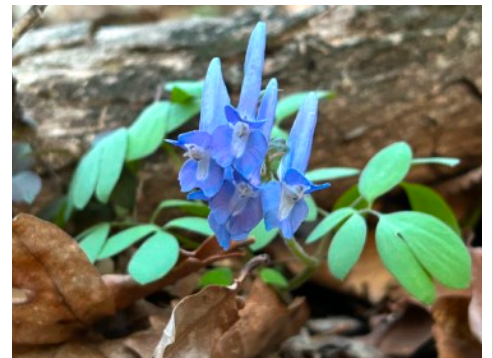


ツマトリソウ

神居山でよくみられます。白い花は風車みたいです。

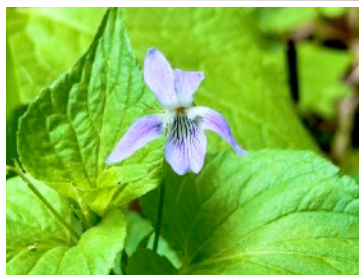
エゾエンゴサク

春植物の定番。葉の形や花の色はバリエーション豊かで、白色をみつけたらレアです。



オオタチツボスミレ

スミレの仲間は見分けるのがむずかしいです。本種は高さ15-25cmと大型です。



しりょうかんしょくいん かつどうにつき
資料館職員の活動日記

この春に2階の常設展示を一部リニューアルして、自然史資料を展示するコーナーにしました。
階段上がって左手にあった先史時代

Before



の土器片・石器の展示をキュッと縮めて…。空いたスペースに本別川流域で発掘された化石や植物の押し葉標本などを展示しています。

After



Vol.1

しぜん しゃしん
ほんべつ自然写真展

2024年4月2日(火)～5月31日(金) @ 研修室

当館は新たな展示活動として「トピック展」を始めました。Vol.1のテーマは自然写真。本別町でみられる野生生物や生態系、景観などの写真記録と実物標本を125点展示しました。

今回、シマエナガやエゾリスなどの野生動物の写真を地域の方からご提供いただきました。子どもから大人まで、本別町の豊かな自然に親しみをもてる展示となりました。



がいらいしよくぶつ 本別公園周辺で外来植物 ハイコウリンタンポポが生育!?

ハイコウリンタンポポはキク科ヤナギ
タンポポ属の多年草です。現在、北海道
ブルーリストに掲載されていませんが、
すでに選定されているキバナコウリンタン
ポポやコウリンタンポポと生態が似てお
り、空間占有性の高さから侵略的外来種
になる可能性がある外来植物です。

これまで本別町にハイコウリンタンポ
ポが生育した記録はありませんでした。

しかし、2023年に本別公園周辺で調
査を行っていたところ、神居山林縁部の
複数の地点で生育がみられました。

神居山西側は頌徳碑・開村記念碑周辺
に広く分布、東側は本別公園の散策路沿
いに数個体が分布していました。さらな
る分布拡大を防ぐためにも、早めに抜き
取りなどの保全対策を行う必要がありそ
うです。



写真1：神居山遊歩道の入口前に
群生するハイコウリンタンポポ



写真2：葉表の長毛(左)と
葉裏の白色軟毛(右)



写真3：総苞片にみられる
黒色のぶつぶつ(微小突起毛)



げんき ちい はっけん 元気くんの小さな発見

ミズナラとカシワのどんぐり帽子

この前、勇足神社でどんぐり帽子をひろったんだ！
でも、神居山に落ちているものと形がちょっと違った
んだよね。気になったから図書館で調べてみると……
どんぐりを「堅果」、帽子を「殻斗」って言うんだっ
て！勇足神社でひろったのはカシワ、神居山でみたの
はミズナラの殻斗だった。木の種類によって形が違う
みたい。ほかにはどんな形の殻斗があるんだろう。



ミズナラ

カシワ



当館は5,000点以上の郷土資料を収蔵しています。

しゅうぞう しりょう しょうかい 収蔵資料紹介



いんかん つりぐ
印鑑タワー（エクボ釣具店）

本別駅（現在：道の駅ステラ★ほんべつ）前の通り（マーケット通り：北3丁目）にあった「エクボ釣具店」で使用されていた印鑑の什器です。八角柱の回転式で、側面には「¥400」のシールが貼られています。

エクボ釣具店は、店舗のあゆみの中で、釣具だけでなく、時計や印鑑なども取り扱いつつ、いながら営みをつづけました。1973年から時計・釣具店として、その後1982年からは釣具店として営業。2009年12月をもって閉店しました。

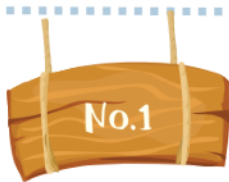


がみ しよくひん
つつみ紙（みつや食品店）

本別駅前の交差点角にあった「みつや食品店」の包装紙です。浦幌町に移住された方が移住先の住居の家具から発見し、浦幌町立博物館へ寄贈。本別町ゆかりの資料として、当館へ移管していただきました。

みつや食品店は、始発列車から最終列車の時間まで営業しており、当時、夜遅くに買い物をする場所はここしかなかったそうです。駅前の開発とともに姿を消しましたが、当館には町並み写真やつつみ紙という形で資料が残っています。

トピックス



資料館友の会役員会・ 定期総会を行いました！

本別町歴史民俗資料館友の会は1988年に「ふるさとを語る人」を増やそうと作られたボランティア団体です。5月20日(月)に第1回役員会、6月16日(日)に第37回定期総会を行いました。会では昨年度の事業報告と収支決算報告のほか、今年度の活動について話し合いました。

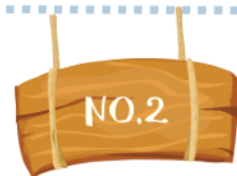


写真：資料館友の会 第1回役員会の様子

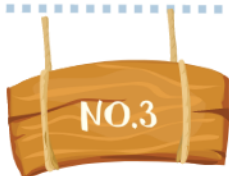


写真：2階常設展示の昔の農業用具を懐かしむ様子

幕別町「しらかば大学」 資料館見学のため来館

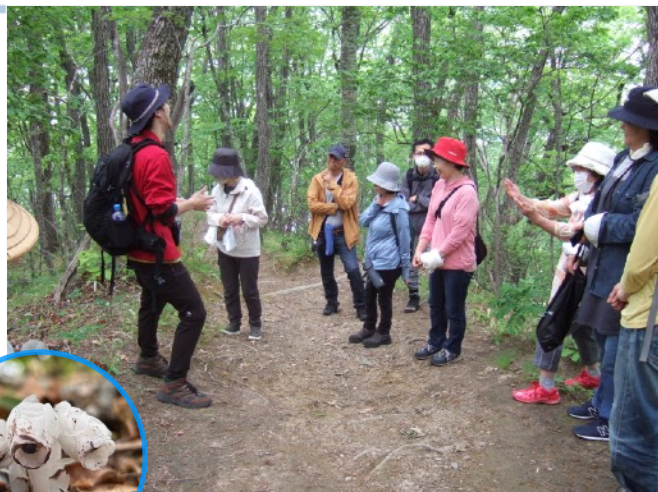


しらかば大学は幕別町で1977年から始まった高齢者学級です。5月24日(火)に34名が当館に来館。1階のプレ企画展(本別空襲関連)や2階の常設展示・トピック展を見学されました。2階では農具ころがしを見て、水田での作業を思い出したり、「うちにも黒電話あったわ。」と昔の生活を懐かしんでいました。



ほんべつ学 初夏のまなびを開催！

ほんべつ学初夏のまなび×第3回ほんべつ自然観察会を6月8日(土)に開催し、10名が参加されました。今回の学びのテーマは「植物との共生」。光合成をしない植物ギンリョウソウを中心に菌類を介した樹木との養分のやりとりや種子散布における昆虫類の役割などを解説。生物多様性や生物間の共生関係について学びを深めました。



写真：ギンリョウソウの生態について
真剣な眼差しで解説を聞く様子

季刊情報誌 本別町歴史民俗資料館ニュース 第1号

発行日 2024年 7月 1日
発行 本別町歴史民俗資料館
編集 永末透威
問合せ 本別町歴史民俗資料館
〒089-3334
北海道中川郡本別町北2丁目4-2
Tel. 0156-22-2141(内線410)



Facebook



資料館活動の
情報を発信中！



HOTほんべつ



来館案内

開館日 火曜日～土曜日 9:00～16:00
休館日 日曜日・月曜日・祝祭日／年末年始
※企画展によって開館日が異なる場合がございます。
入館料 ①常設展示・企画展示は無料。
②特別展示の入館料は下記の通りです。

特別展示入館料	町内	町外
大人	100円	150円
・小学生・中学生・高校生 ・高齢者(65歳以上) ・障がいのある方 (身体障害者手帳,精神保健福祉および療育手帳の 交付を受けている方)	50円	100円



表紙：エゾエンゴサク@弁慶洞遊歩道 (2023年4月 撮影)
裏表紙：ゴジュウカラ@神居山遊歩道 (2024年3月 撮影)